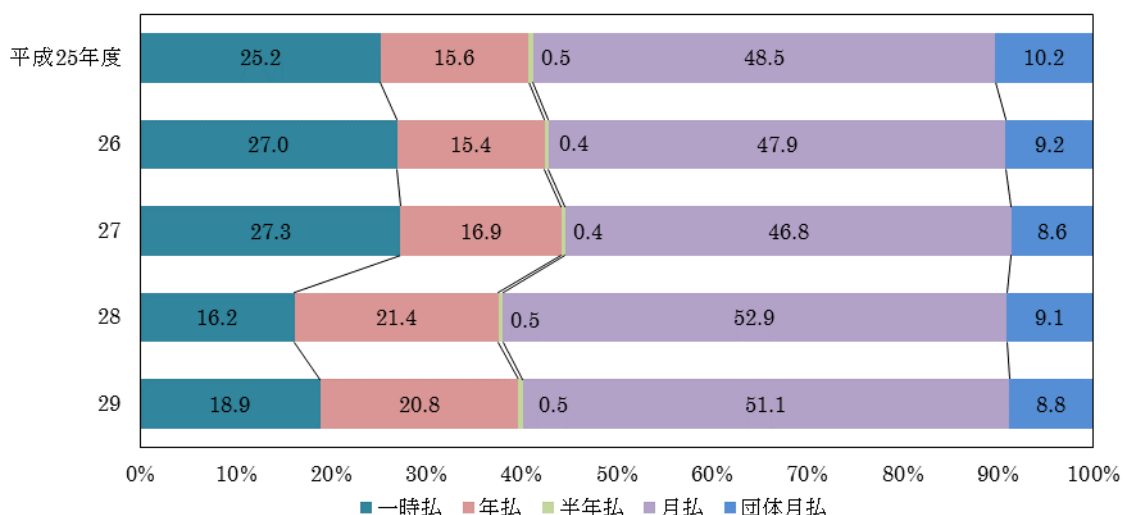


図表 36 収入保険料（個人保険）の払込方法別構成比の推移



(2) 保険金等支払金

保険金等支払金は 28 兆 9,430 億円（前年度比 99.8%）となった。

保険金等支払金の内訳をみると、保険金は 10 兆 4,068 億円（前年度比 94.2%）、年金は 4 兆 7,545 億円（同 98.2%）、給付金は 3 兆 8,625 億円（同 98.9%）、解約返戻金は 6 兆 4,064 億円（同 111.1%）、その他返戻金は 1 兆 4,348 億円（同 127.5%）、再保険料¹²は 2 兆 777 億円（同 89.6%）となった。

保険金・年金・給付金についてそれぞれみると、保険金は、旧簡易生命保険契約の減少を受け、平成 20 年度以降 10 年連続で減少している。年金は、平成 26 年度まで一貫して増加し続けていたが、平成 29 年度は前年度に続き減少となった。給付金も、前年度に続き減少となった。【図表 37】

図表 37 保険金等支払金の推移

（億円）

| | 保険金 | 年金 | 給付金 | 解約返戻金 | その他返戻金 | 再保険料 | 合計 |
|----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 平成 25 年度 | 143,078 | 44,996 | 40,539 | 79,996 | 11,368 | 17,808 | 337,787 |
| 26 | 129,710 | 51,966 | 40,661 | 87,721 | 18,173 | 21,291 | 349,525 |
| 27 | 121,248 | 48,597 | 40,965 | 74,598 | 18,909 | 20,220 | 324,541 |
| 28 | 110,530 | 48,432 | 39,047 | 57,688 | 11,252 | 23,188 | 290,140 |
| 29 | 104,068 | 47,545 | 38,625 | 64,064 | 14,348 | 20,777 | 289,430 |

以下はかんぽ生命を除いた数値

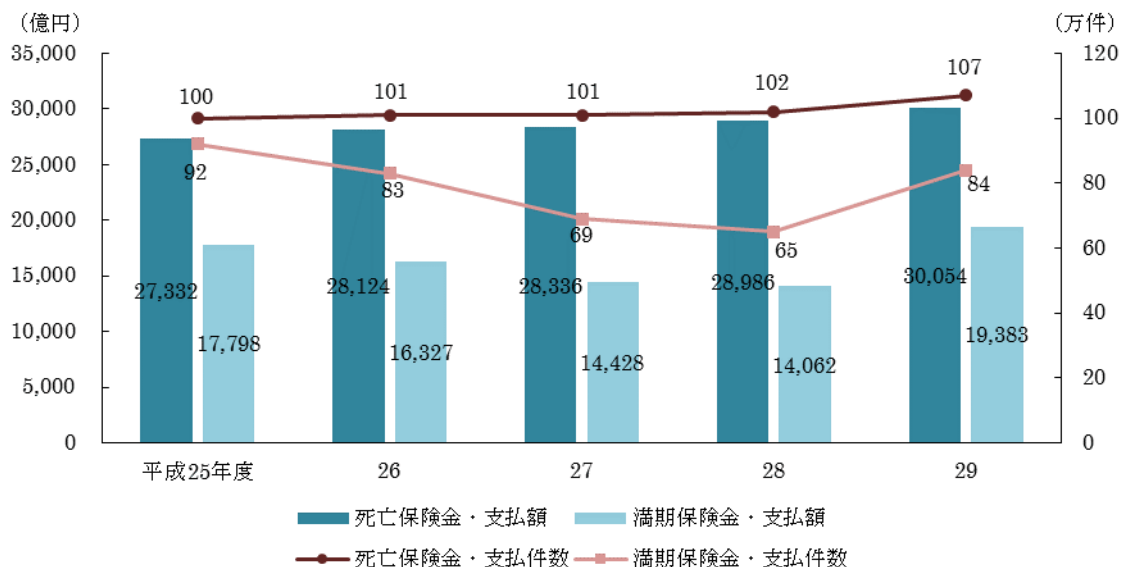
| | | | | | | | |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 25 | 47,965 | 42,429 | 40,199 | 77,793 | 10,008 | 17,782 | 236,179 |
| 26 | 47,170 | 48,925 | 40,246 | 84,808 | 16,548 | 21,229 | 258,929 |
| 27 | 45,476 | 45,188 | 40,473 | 70,809 | 16,973 | 20,113 | 239,037 |
| 28 | 45,657 | 44,719 | 38,476 | 53,357 | 9,392 | 23,031 | 214,637 |
| 29 | 47,818 | 43,598 | 37,938 | 58,611 | 11,992 | 20,569 | 220,530 |

*旧日本郵政公社が取り扱っていた簡易生命保険の契約に係る収支は、同契約を継承した郵便貯金・簡易生命保険管理機構からの受再保険を通じて、かんぽ生命の収支に反映されている。また、簡易生命保険に係る保険金等支払金（年金等を含む）に相当する金額は、かんぽ生命の「保険金」に含まれている。

¹² 生命保険会社が再保険引受会社に支払う保険料。再保険とは、生命保険会社が、自己の引き受けた保険の保険金支払額に係るリスクを分散させる目的で再保険引受会社と結ぶ保険契約をいう。

保険金の支払いのうち、死亡保険金は107万件（前年度比104.7%）で3兆54億円（同103.7%）、満期保険金は84万件（同128.7%）で1兆9,383億円（同137.8%）と、いずれも件数・金額ともに増加した。【図表38】

図表38 死亡・満期保険金の支払件数・支払額の推移



給付金の支払いのうち、入院給付金は690万件（前年度比103.7%）で7,039億円（同101.5%）、手術給付金は417万件（同105.4%）で4,281億円（同103.8%）と、いずれも件数・金額ともに増加した。【図表39】

図表39 入院・手術給付金の支払件数・支払額の推移

